

令和2年度第1回「再生可能エネルギーの導入等促進プラン委員会」議事要旨

日 時： 令和2年7月14日（水） 14：00～16：00

場 所： キャンパスプラザ京都（2階ホール）

議題： 再生可能エネルギーの導入等促進プラン（第2期）の策定について

（主な意見）

1 目標

- 将来は分からないので、ひとまずの目標として定めた上で、状況に応じて途中で変更していく、というスタンスが良いのではないか。
- 水力、風力等の物理的なポテンシャルに比較して導入量が小さいのであれば、その理由の分析が必要。
- 目標指標は、「割合」だけでなく「絶対量」も表記してはどうか。

2 太陽光発電関係

- 家庭用太陽光普及が進んでいない理由は何か。京都は古い建物が多いこと、景観の問題等あると思うが、是非、色々な意見を伺いながら打開策を探っていただきたい。
- 新聞等のメディアを活用した情報発信・広報活動に期待。そうした後押しがあると、（太陽光発電設備販売の）業界も動きやすい。

3 地域共生

- 再エネも環境負荷や外部不経済はゼロではなく、その観点から、地域の方の合意や地域の活性化につながる普及と、再エネ促進のためのゾーニング等の施策が重要。

4 長期安定化（保守点検等）

- 家庭用太陽光発電設備は保守点検がほとんど実施されていないのではと懸念。取組に賛同される企業と連携した施策、例えば無料点検の実施等を検討されてはどうか。
- 電気の地産地消に加えて、メンテナンスまで含めて地域で完結する仕組みを作ることが重要。

5 再エネ需要の創出

- 環境価値を流通させるマーケットの創出に取り組んでいくのはどうか。
- 「中小企業の再エネ利用促進」について、電力会社から購入するイメージが強いが、まずは導入を積極的に推進すべき

6 その他

- 次期プランにおいて、技術革新・研究開発や実証事業の推進、エネルギー産業の集積等を目指す発想があってもよいのではないか。

以 上